

誤

海水核種分析結果 < 沿岸及び沖合 >

別紙2

(データ集約: 5/31)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側 に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南 側に約330m地点)		福島第一 敷地沖合15km		福島第二 敷地沖合15km		炉規則告示濃度限度 Bq/cm ³ (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成23年5月9日		平成23年5月9日		平成23年5月9日		平成23年5月9日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	9.6E-03	0.24	4.8E-03	0.12	4.6E-03	0.12	4.4E-03	0.11	4E-02
Cs-134 (約2年)	6.3E-02	1.1	6.3E-02	1.1	3.4E-02	0.57	3.0E-02	0.50	6E-02
Cs-137 (約30年)	6.8E-02	0.76	5.7E-02	0.63	4.0E-02	0.44	4.3E-02	0.48	9E-02
Sr-89 (約51日)	2.4E-03	0.01	1.9E-03	0.01	2.8E-04	0.00	1.4E-03	0.00	3E-01
Sr-90 (約29年)	4.4E-04	0.01	3.4E-04	0.01	1.2E-05	0.00	2.4E-04	0.01	3E-02

E- とは、 × 10⁻ と同じ意味である。

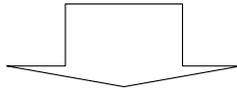
二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

I - 131, Cs - 134, Cs - 137 については、5月10日公表。

分析機関: 日本分析センター (Sr - 89, 90)、東京電力 (I - 131, Cs - 134, Cs - 137)

(評価)

沿岸・沖合共に Sr - 89, 90 が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、それぞれ告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。



正

海水核種分析結果 < 沿岸及び沖合 >

別紙2

(データ集約: 5/31)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側 に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南 側に約330m地点)		福島第一 敷地沖合15km		福島第二 敷地沖合15km		炉規則告示濃度限度 Bq/cm ³ (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成23年5月9日		平成23年5月9日		平成23年5月9日		平成23年5月9日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	9.6E-03	0.24	4.8E-03	0.12	ND	-	ND	-	4E-02
Cs-134 (約2年)	6.3E-02	1.1	6.3E-02	1.1	ND	-	1.5E-02	0.25	6E-02
Cs-137 (約30年)	6.8E-02	0.76	5.7E-02	0.63	ND	-	ND	-	9E-02
Sr-89 (約51日)	2.4E-03	0.01	1.9E-03	0.01	2.8E-04	0.00	1.4E-03	0.00	3E-01
Sr-90 (約29年)	4.4E-04	0.01	3.4E-04	0.01	1.2E-05	0.00	2.4E-04	0.01	3E-02

E- とは、 × 10⁻ と同じ意味である。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

I - 131, Cs - 134, Cs - 137 については、5月10日公表。

分析機関: 日本分析センター (Sr - 89, 90)、東京電力 (I - 131, Cs - 134, Cs - 137)

(評価)

沿岸・沖合共に Sr - 89, 90 が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、それぞれ告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。